

性暴力の理解と地域における被害者支援の重要性を考える

日時：2016年3月6日（日）13:00～16:00（開場12:30）

会場：名古屋第二赤十字病院・3病棟1階 研修ホール

主旨：性暴力救援センター「なごみ」の開設を地域社会に広く周知し、被害者の人生を破壊するほどの重篤な性暴力のダメージについて共通理解の輪を拡げます。国内外の専門的知見や示唆をもとに、性暴力の防止、被害女性の保護やサポートのために、専門職・メディア・一般市民らがそれぞれの立場でできることを再認識し、安全な地域社会への方向性を考える機会とします。



講師：ニッキー・スタンレーさん（Professor Nicky Stanley）
英国セントラル・ランカシャー大学ソーシャルワーク研究科

虐待・DV、若者・女性のメンタルヘルス、異職種間連携などソーシャルワーク実践に直結した研究を展開。イギリス政府やシンクタンクNSPCCとの数々の共同研究のリーダー。

記念講演「Pornography, sexual coercion and abuse and sexting in young people's intimate relationships」（予定題目）

（若者たちの交際関係におけるポルノ、性的強制・虐待およびインターネット性虐待）

指定討論者：加藤 治子さん（性暴力救援センター大阪SACHICO産婦人科医）

参加費無料・通訳付き 定員：160名

お問い合わせは 名古屋第二赤十字病院 看護部 にお願ひします。

電話：052-832-1121(代表) 〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2-9

*お申し込みは不要です

■主催 性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」
日本学術振興会・科研費助成事業（研究代表者 吉備国際大学・高橋睦子）
「離婚・別居後の面会交流と子どもの最善の利益についての国際比較研究」

■後援 愛知県弁護士会、名古屋第二赤十字病院、
女性と子どものライフケア研究所